



深谷市立深谷小学校 平成30年6月29日

いよいよ日本の夏到来です。梅雨明けの蒸し暑さで何となく体が だるく、食欲も衰えて来る時季です。学校では水泳指導が始まる と、水に入った後の子どもたちの食欲は少し減退するようです。

この時期、献立を作成する栄養士はビタミンやミネラルたっぷりの旬を迎える夏野菜・果物を使ったり、食欲をそそる香辛料を用いたりと子供たちのために工夫をします。そして、その給食を調理員さんが、暑さの中衛生面に配慮しながら、腕によりをかけて作ります。子供たちの「いただきます!」や「ごちそうさま!」の元気な声が私たちにとっては何よりのご褒美です。

朝ごはんを充実させるための3ステップ

学校では、学力テストや体力テストが行われます。これらの調査では、 朝食を食べているかや運動の頻度など子供たちの生活習慣を尋ねるアン ケートも行われています。朝食については全く食べてこないという児童は 少なくなりましたが、その食事内容には色々課題もあります。お子さんの 朝の様子はどうですか?朝ごはんのグレードアップ術を紹介します。

時間がない人食欲のない人

朝ごはんを食べる習慣を これからつけたい

ステップ1

20~30分早く起きて、何か食べてきましょう!





バナナ、ヨーグルト、おにぎり、トースト、 温かい汁物やスープなどは、いかがでしょ う。

少し余裕のある人食欲が出てきた人

朝ごはんを食べる習慣を 定着させたい

ステップ2

2種類以上を組み合わせて 食べてみましょう!





おにぎりとみそ汁、トーストと野菜スープ、 バナナとヨーグルトなど。朝の排便リズム もつきやすくなりますよ。

時間がある人 食欲のある人

朝ごはんの内容を さらに充実させたい

ステップ3

栄養バランスを整えよう!

主食、主菜、副菜 (汁物を含む) を そろえましょう。 乳製品や果物 もあると、より 充実します。

6月25日から6月29日まで給食委員会による

完食キャンペーンを実施しました

毎年恒例となりつつある完食キャンペーンを、給食委員会が今年も行いました。完食キャンペーンは、自分で調整した量を各自しっかり完食し、クラス全体の残食をなくす取組です。日本の食品ロスは年間約632万トンにもおよび、とても大きな問題となっています。食品ロスを減らすために、食べものを無駄なく、大切に消費していく必要があります。深谷小学校でも一人一人が残食をなくし、調理員さんへの感謝の気持ちを表すことはもちろん、食べものを大切に考え、食品ロスについても意識していける深小っ子になってほしいと考えてこの取組を行っています。

3年生以上はお碗の 米粒も残さず食べる 取組も頑張りまし

た!



あと かた こ

かん しゃ

こころ

an arta

後片付けは感謝の心をうつす鏡

日本の学校給食は、世界でも類と見ないまとも導内容が充実しています。成長期の栄養摂取はもちろんですが、献立を通し食文化を伝えたり、当番活動を通して互いに協力することを学んだり、食事の大切さを知ったり、衛生について学んだりします。その中でも一番難しいのは食べものを大事にし、食事にかかわる人たちへの感謝の気持ちを育むことではないでしょうか。完食キャンペーンも、感謝の気持ちを育む取組の一つです。人との関係がややもするとうすくなりがちな現代の子供たち。食器の返却でも思いやりや感謝の気持ちを表し、伝えられることをぜひ知ってほしいと思います。

「ピカピカ遊し」を心がけよう!



食器はきちんと重ね、 向きをそろえて返そう!



トレイなどに ストロー袋など、ごみがついて いないか確認しよう!

感謝の心をバトンタッチ~ピカピカリレー~

「ピカピカ返し」ができたら、次は「ピカピカリレー」にも挑戦してみよう。みんなの心もきっとピカピカになりますよ!



「ピカピカ盛し」ができたら、 「ピカピカだね!」と声をかけ - [^]合おう。



「ピカピカにをべました!」と言って、 食器を調理員さんに見てもらおう。